

感染症時代の再来と「end of life care」

井上 深幸

1. はじめに

世界的にみると、我々は感染症の流行を過去に何度も経験している。日本では平城京の時代、天然痘によって多くの人々が亡くなった。その後は、SARS（2002年）とMERS（2012年）が世界で感染拡大したが、日本への影響は大きくはなかった。そして2020年、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大によって、我々の生活は一変した。感染者数は世界全体で400万人を超え、死者は27万人を超えた（2020）。日本では、2020年3月13日新型コロナウイルス特措法の施行に続き、4月7日には7都道府県に緊急事態宣言が発令された。1日の感染者数は、4月11日が最大で719人であった。4月16日には宣言の対象地域が全都道府県に拡大され5月末日まで延長され、今世紀最大の緊急事態となった。

「COVID-19」と命名された新型コロナウイルス感染症は、高齢者や既往歴のある人ほど重症化し易い事がわかっている。4月26日厚生労働省の発表によると、死亡率は70代から平均を上回り、80～90代が平均の6倍を超えている。このような治療方法が確立されていない感染症の出現は、高齢者看護にも影響を及ぼしている。高齢者看護の教育・研究に携わる立場として、COVID-19に罹患した人への懸命な医療・看護の実際を踏まえ、再来した感染症時代の高齢者看護の在り方について私見を述べたい。

2. COVID-19に罹患した高齢者看護の実際

日本感染症学会HPで公表されている「新型コロナウイルス肺炎（COVID-19）の緊急症例報告」では、高齢者は個室入院に伴うサルコペニアやフレイル発症の可能性が懸念され、看護師による歩行援助や座位保持の促進により、臥床を避けるよう努めた事が報告されている（石川, 中山, 小島 2020）。高齢者の生活機能の回復を治療目標とした「治し支える医療・看護」へのパラダイムシフトが、緊張状態が想定される治療現場においても行われていることが伺える。他方、COVID-19に感染した高齢者は、面会を制限され、家族に見守られる事なく最期を迎える事実もある。COVID-19の罹患は、QOLを最後まで最大限に保つことを重視する高齢者への「end of life care」や「家族への支援」の在り方に大きな影響を与えている。

ICTの活用の有効性が示されている報告もある。ビデオ通話は医療従事者の入室を省略できる事や、スマートフォンは患者が家族と連絡をとることで面会制限によるストレスを軽減する事に役立つ手段となっていた。一方で、スマートフォンを持たない人には病室の内線電話が使用されたが、聴覚機能が低下した高齢者には医療従事者は頻繁に入室し対応せざるを得ない場面があった事も報告されている（森村, 鈴木, 赤瀬他 2020）。感染対策としての情報機器の活用は有効ではあるが、高齢者が新しいツールを活用する事は容易ではない。高齢者が簡易な情報機器を日常的に用いることができるような支援も求められる。

3. 感染症時代の再来と「end of life care」

文献

COVID-19による最大の影響は、QOLに注力した「end of life care」が著しく脅かされるという点であろう。「end of life care」は1990年代後半から用いられるようになってきた比較的新しい概念である。決定的な定義は示されていないが、高齢者における「end of life care」は、その人の生活に焦点をあて、多様な療養・看取りの場の選択を考え、QOLを最期まで最大限に保つ支援が求められる。

看護提供者は、患者の体と心を、治療とケアを切り離さず、高齢者の傷つき易さを守る事を最大の役割としている。厳しい隔離を余儀なくされる感染症時代にあって、残される人の悲嘆へのケアも含め、人生の最終章を生きる人への「end of life care」の視座に立つ看護が重要であると思料する。

石川 哲, 中山 静, 小島 彰. (2020). ファビピラビルを早期投与し軽快した80代後半のCOVID-19肺炎の1例, [http://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=31#case reports](http://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=31#case%20reports) 2020,4,22.

Johns Hopkins University Coronavirhdsus resource senter.

<https://coronavirus.jhu.edu/map.html> 2020,4,22.

森村 治, 鈴木 徳洋, 赤瀬 望, 阿部 欣也. (2020). COVID-19患者の対応に関する党员での実情と療養環境の工夫, [http://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=31#case reports](http://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=31#case%20reports) 2020,4,22.